

第65回全国選抜少年剣道錬成大会
山形県内陸地区予選大会兼安藤杯予選大会要綱

1. 名 称 第65回全国選抜少年剣道錬成大会（水戸大会）
第45回内陸地区予選大会兼安藤杯予選大会
2. 主 催 山形県剣道道場連盟
3. 主 管 山形県内陸地区剣道道場連盟 ・ ましみず剣童会
4. 後 援 全日本剣道道場連盟
5. 期 日 令和5年10月15日（日）
- | | |
|---------|----------|
| 開 場 | 午前 7時30分 |
| 審判監督会議 | 午前 8時45分 |
| 開 会 式 | 午前 9時15分 |
| 試 合 開 始 | 午前 9時45分 |
- ※上記時間は予定時間になります。
6. 会 場 天童市立第一中学校体育館（別紙参照）
天童市大字原町10番地1 TEL 023-654-2311
7. 趣 旨 山形県剣道道場連盟事業の一環として、山形県内陸地区の小学生を対象に剣道の正しい普及並びに、心身の錬磨と相互の親睦を図りつつ、日本の将来を担う健全なる青少年の育成に資する。
8. 参加資格 ① 財団法人全日本剣道道場連盟に加入した道場で選手は剣士登録（内陸地区事務局）している者に限る。申込時に登録の無い選手は不可とする。
② 出場チーム数は、1道場から1チーム（男女混合可）とし、選手は5名、補員は2名とする。
③ 審判員を1～2名以上必ず出すこと。（70歳未満の方）
（審判員は剣道試合審判規則に従った服装を着装して下さい。）
④ **審判と監督の兼任を認める。**
⑤ 試合場係を1名以上必ず出すこと。
9. 参加方法 ① 試合の名札は、必ず所属団体部分が合致した名札を中央の垂れにつけること。
② 選手は、少年剣士章（ワッペン）を 剣道着右上腕部に必ず着けて参加すること。
（試合運営上差支えがある他、傷害保険が適用されない場合があります。）
③ 試合者の目印（赤・白のタスキ）は、各道場で持参し、脱着も行うこと。
10. 試合方法 ① 全日本剣道連盟の剣道試合、審判規則・細則による。
② 試合時間は2分間とする。
③ 大会詳細については、代表者会議 又は大会当日の審判・監督会議において決定する。

裏面あり

11. 参加申込 ① 内陸地区剣道道場連盟のホームページから申込書をダウンロードし必要事項を入力して下記に送信して下さい。(エクセルに限る)
送信先 E-mail iinoyosi@khaki.plala.or.jp(HPのポストマークからでもできます)
- ② ①の送信ができない場合は申込用紙に必要事項を記入し下記宛ご提出下さい。
郵送の場合 内陸地区剣道道場連盟 事務局
〒990-0845 山形市飯塚町442番地22
飯野 義弘 方宛
- ③ 参加料
- | | | |
|------|-----|--------|
| | 1道場 | 5,000円 |
| 地区会費 | 1道場 | 1,000円 |
| 合計 | | 6,000円 |
- 下記期日の「打合せ会議」で納めること。
- ③ 申込締切 令和 5年 9月 8日(金) 必着
12. 表彰 ① 大会当日、監督推薦で各道場から1名を閉会式で表彰しますので、予選ブロック終了までに推薦用紙(当日配布)に剣士名を記入し本部記録に提出してください。
② 上位12チーム(予定)を選抜し、後日(3月初旬)安藤杯争奪戦で順位を決定し3位まで表彰する。(3位決定戦は行いません)
13. 安全対策 ① 出場チームは必ず監督が引率し、大会中の事故防止、並びに選手の健康管理等一切の行為に責任を持つこと。
② 主催者は、大会中の負傷・疾病に対し応急手当をする他は一切責任を負わない。
14. 打合せ会議及び抽選会 下記により大会要綱の細部について「打合せ会議」を行います。
なお、終了後「組合せ抽選会」を行いますので、各道場のキャプテンを同行のうえ必ずご出席ください。やむをえず欠席の場合は、「内陸地区剣道道場連盟会長」に一切を委任する旨ご了承ください。

記

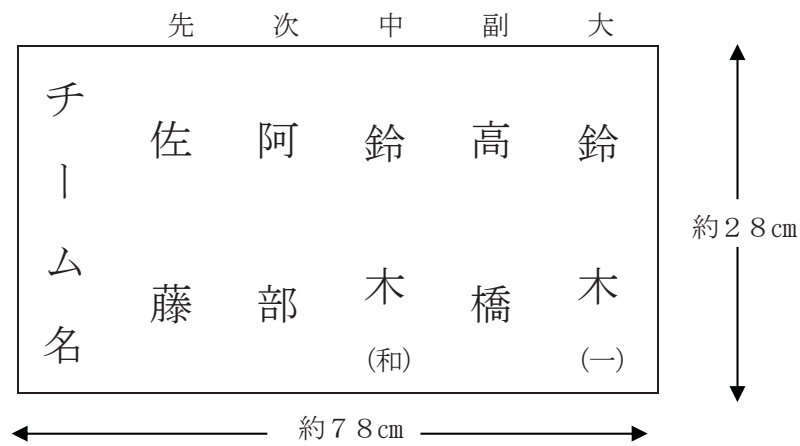
期 日 令和5年 9月 9日 (土)
場 所 山形市江南体育館 ミーティングルーム
時 間 午前 9時 15分 ~

※ 当日は午前9時より同体育館で内陸地区の合同練習会があります。

15. その他 ① 選抜方法及び選抜数(12)は昨年度と同じ予定です。
② オーダー表は、各道場で作成し試合当日持参し、各試合場に提出してください。
③ 予選大会終了後、会場内において反省会(30分位)を行い次年度の主管道場を決めますので、各道場の代表者(責任者)は必ず出席してください。
参加しない場合、翌年の参加を認めない場合がありますのでご注意ください。
④ 大会当日、参加申込書に記入している審判員及び試合場係が欠席になるような場合は必ず代替りの審判員及び試合場係を出してください。
⑤ 審判員及び会場係がない道場の参加はできません。(参加資格③・⑤)
⑥ 審判員の昼食は準備いたします。
⑦ 各道場でゴミ袋を準備しゴミ・弁当のカラ等はすべて持ち帰ること。
⑧ 大会終了後、参加道場から2名参加し会場内外の後片付けをお願いします。
⑨ 大会施設・駐車場内における事故・盗難に関しては一切の責任を負わない。

オーダー表の提出について

1. オーダー表の書き方



大判用紙五等分のおおきさです。

それを六等分に折って墨又は黒マジックで書いてください。

なお、「先・次・中・副・大」の字は書かないでください。

※ 4名で出場の際は「次鋒」を抜く

3名で出場の際は「次鋒・副将」を抜く

2. オーダー表は試合当日試合場へ提出し

対戦終了後は必ず持ち帰って下さい。

第65回全国選抜少年剣道錬成大会《水戸大会》
第45回山形県内陸地区予選大会兼安藤杯争奪予選大会
参加申込書

令和 5 年 月 日

道 場 名 _____

代表者名 _____ (会長・団長・館長・代表・その他 ())

連絡先氏名 _____

住 所 〒 _____

代表者 連絡先 _____

電 話 代表者 連絡先 _____ ・ 携帯 代表者 連絡先 _____

	氏 名	学 年	性 別
監 督	○		
先 鋒	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		
次 鋒	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		
中 堅	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		
副 将	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		
大 将	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		
補 員	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		
補 員	フリガナ	6.5.4 3.()	男・女
	☆		

☆ 審判員名

1 .	段位	段
2 .	段位	段

☆ 試合場係名

- 出 席
1. 打合せ会議（9月9日）に _____ します。（どちらかを○で囲んでください。）
- 欠 席
2. 1) 団体名は全日本剣道道場連盟に登録している正式名称をご記入ください。
2) 代表者名は全日本剣道道場連盟に登録している代表者名をご記入ください。

山形県剣道道場連盟剣道大会申し合わせ事項

平成27年4月5日 制定

平成29年4月2日 改定

令和2年 月 日 改定

1. 大会運営及び規則の運営について

本連盟主催の大会は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則及び細則」、新型コロナウイルスが収束するまでの暫定的な審判法と、以下の申し合わせ事項により行うものとする。

(1) 競技方法について

- ① 試合時間は小学生2分、中学生3分。時間内に勝敗の決しない場合
 - ◎団体試合は引き分け
 - ◎個人試合は、その大会の規則に従う
- ② リーグにおけるチームの引き分けの際は、その都度勝負を決定せず、リーグ戦終了後に下記の(イ)～(ハ)の順で高得点数のチームを上位とする。
 - (イ) チームの勝ち点の総数(勝3点、分1点、敗0点)
 - (ロ) 勝者数の総数
 - (ハ) 取得本数の総数。全てが同数の時は代表戦を行う。
- ③ 代表者戦は一本勝負とし、それまでの団体戦と同様に代表者以外の選手も入場・整列終了を行う。試合時間はそれまでと同じ。その時間内で勝敗の決しない場合は、小学生は2分ごとと区切り、中学生は時間を区切らず延長戦を行い勝敗を決定する。代表者戦の選手は誰でもよいが試合に出ていない補欠は含まない。
- ④ 代表戦において、補欠と交代した選手の再出場は認めない。
- ⑤ 団体戦の選手変更は以下の方法、条件内で認める。
 - (イ) 審判・監督会議前までに所定の届けを大会事務局へ提出する。
 - (ロ) 変更できる選手の人数は2名以内とする。
 - (ハ) 先鋒から大将までのオーダーは変えられない。
 - (ニ) 新たな選手を入れる場合は、補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。
 - (ホ) 審判・監督会議終了以降に補欠を起用する時は、監督が審判主任へ申し出て承認を得る。
- ⑥ 団体戦の試合開始は、監督が控え席に着いた後に開始する。

- (2) 試合はすべて一刀(一本の竹刀)にて行うものとする。二刀にての試合は認めない。原則構えは中段とし、片手技は有効打突としない。突き技は禁止する。

(3) 竹刀について

- (イ) 鏢は固定すること。革色および白色以外の鏢の使用は認めない。
- (ロ) 弦の色は、白・黄・紫とする。
- (ハ) ビニールやテープなどを巻き付けた竹刀を使用しないこと。
- (ニ) 竹刀は、SSPシール(全日本剣道連盟の試合規格を満たす品質保証)が貼付けされているものを使用すること。(試合中発見した場合は交換してもらう)

- (4) 合議後に反則を宣告するときは、反則の内容を明示する。

(5) 鏢競り合いについて

「新型コロナウイルス」が収束するまでの暫定的な審判法による。

- ~~① 鏢競り合いは正しく行われているか(不当か)を見極める。~~
- ~~② 一方が鏢競り合いを解消(引き技や間を切る)しようとしているにもかかわらず、もう一方が鏢競り合いを解消しない場合は、反則(時間空費)とする。~~
- ~~③ 小中学生での鏢競り合いにおける膠着状態はあり得ないが、試合時間が短いため、「分かれ」を有効活用すること。~~

《正しい鏢競り合いとは、鏢が交差し胸下に位置(左拳はほぼ中段の構えの高さ)し、上から圧力をかけている状態》

- (6) 判定基準
 - ① 技能の優劣
有効打突に近い打突の多い方を優先する。
 - ② 試合態度の良否
技能の優劣が同等の場合は、姿勢態度(攻め)が良いほうとする。
- (7) 足袋・サポーター・テーピングテープの装着について
 - (イ) 足袋・サポーター(かかと保護のための剣道専用サポーターを含む)・テーピングテープの使用を認める。
 - (ロ) ゴム張り・革張りの足袋・サポーターは認めない。
- (8) 試合者の名札等について
 - (イ) 試合者の名札は、前垂れに道場名(全道連登録名)・姓を明記した名札を着装用すること。同姓の選手がいる場合は、区別できるようにする。
 - (ロ) 選手は、少年剣士章(ワッペン)を剣道着右上腕部に必ず着けて参加すること。

2. 選手心得

- (1) 選手は、道場剣士らしく気品のある態度で全力を挙げて試合する。
- (2) 選手は、常に竹刀の点検を行い完全なものを使用する。
- (3) 選手の服装は、紺(黒)または白の剣道着・袴とする。なお、刺繍等により華美にならないこと。
- (4) 試合者の剣道着・袴には、目立つチーム名などを大きく入れてはいけない。目印(たすき)を着ける時は、折り返した2枚の長さが揃うように着ける。
- (5) 貴重品の保管には十分留意する。
- (6) 滑り止めのための雑巾等は使用しない。

3. 監督等の責任について

監督及び引率責任者は、試合会場内での選手等の試合や稽古、行動等について指導責任を有する。

4. 監督心得

- (1) 監督の服装は背広、ネクタイ、または剣道着、袴とする。
- (2) 試合場に入れるものは監督・選手・定められた補欠だけで、他の者の入場は厳禁とする。
(但し、大会主催の判断による)

5. 事故の処理

選手が負傷した場合は、医師の判断により、試合継続の可否を決定する。但し、医師不在の場合は、監督の意見を聞いた上、審判主任と審判員3名が審判長の了解を得て、試合継続の可否を決定する。その場合、原則として5分以内で結論を出す。

6. その他

試合放棄に対する措置及びその他の記載のない事項については、全て大会関係者による協議を行い、最終には大会会長が決定する。

試合放棄とは事故や負傷などによる棄権ではなく、運営や判定に対する不満により、試合を一方的に棄権した場合をいう。



大会会場

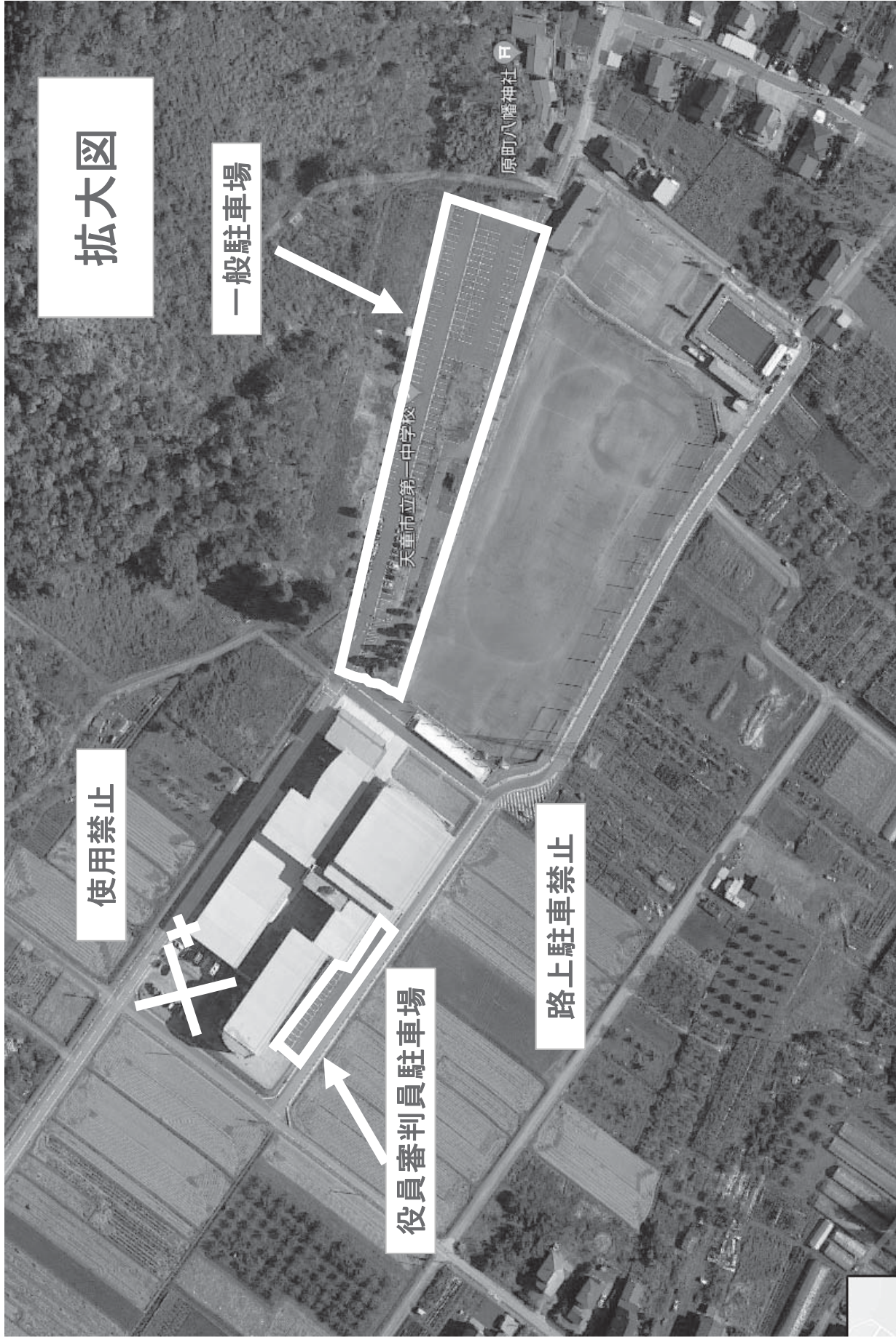
R13

別紙拡大図

※ 一般駐車場以外のスペース・道路への駐車はしないでください・
駐車台数に限りがありますので、極力乗合でご参加ください。(1道場6台くらい)

山形県総合運動公園

地図



拡大図

一般駐車場

使用禁止

路上駐車禁止

役員審判員駐車場

原町八幡神社

美童市立第一中学校

第45回内陸地区水戸大会内陸地区予選大会

『参加上の注意』

※『参加上の注意』をよく熟読頂き、大会にご参加ください。

※出場者は必ず監督が引率し、事故防止並びに大会中の健康管理など、全ての責任を持ってください。

- ・本大会は、全日本剣道連盟制定の、「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」および「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な審判法」に沿って開催します。
- ・来館者におけるマスクの着用は個人の判断とします。
- ・控え場所における面の着脱等、監督のもと管理し、各自消毒、衛生管理を行ってください。
- ・万が一、大会開催1週間以内に新型コロナウイルスの感染が発覚した場合、医師・保健所の指示に従い、ただちに内陸地区事務局へ連絡して下さい。
- ・運営は感染に関する注意喚起、消毒液の設置等感染防止対策を行いますが、各自においても感染対策を行って頂き、参加者が新型コロナウイルス感染症に感染しても一切の責任を負わないものとします。
- ・今後の感染症拡大状況により、開催内容の変更および大会を中止する場合があります。
- ・中止となった場合は、参加料は準備状況に応じた諸経費を差し引いて返金いたします。
- ・選手・監督及び保護者は本大会における対策および取り決めについて、同意の上出場するものとします。
- ・開館と同時に館内になだれ込み、席とりに走り込むご父兄等が見受けられます。
事故の危険性がありますので整然とご入館下さい。
- ・大会前日及び当日の貼り紙やシート類・ロープ・竹刀等で席を確保するのは禁止します。
(前日行った場合は撤収し、遺失物として事務局で預かります。)
- ・会場内のコンセントの使用は禁止します。施設は大切に使用してください。

- ・ 試合者の名札は所属団体部分がチーム名（全道連登録名）と合致した、姓入りの明確に読み取れる物を使用してください。

（全道連に「〇〇中学」で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用出来ません。）

- ・ 選手は少年剣士章（ワッペン）を剣道着右上腕部に必ず着けて参加ください。

（試合運営上差し支えがある他、傷害保険が適用されない場合があります。）

- ・ 大会申込時の審判員が大会当日欠席になる場合は、必ず別の方を出してください。

- ・ 各大会において忘れ物が多いので必ず名前を記入してください。

（大会終了後1週間は内陸地区事務局で保管しますがその後は処分いたします。）

- ・ 申込により得られたデータは、プログラムの選手名掲載他、剣道普及のために使用することがあります。
- ・ 大会の会場において、個人利用の目的でビデオ撮影を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは配布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、内陸地区剣道道場連盟から許可を得て行う場合はこの限りではありません。
- ・ 大会の会場などにおけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。ストロボ撮影は禁止とします。
- ・ 内陸地区剣道道場連盟が許可した報道機関等が撮影した写真や映像が新聞・雑誌・報告書及び関連のホームページ等に掲載や配信されることがあります。

主催者は大会負傷疾病対し応急手当をする他は一切の責任を負いません。試合者（選手）は少年剣士会員章

（ワッペン）の傷害保険が適用されますので、万一、傷害が発生した場合、本部に届けて下さい。

第65回全国選抜少年剣道錬成大会 内陸地区予選会

選手変更届 (R05年度)

※ 剣士登録を確認しますので審判監督会議前まで内陸地区事務局へ提出してください。

チーム名					
試合場	□第1 □第2 □第3 □第4				
ポジション	変更前	変更後	学年	事務局 確認	
先鋒					
次鋒					
中堅					
副将					
大将					
補員					
補員					

※ 別添の「申し合わせ事項1 (1) ⑤」を遵守してください